

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	ISリキッド
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途および使用上の制限	歯科用陶材の関連付属品
整理番号	1000-000011

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない	
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2B 区分3(麻酔作用)
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない	

シンボル



注意喚起語 危険有害性情報

警告
眼刺激
眠気又はめまいのおそれ

注意書き

安全対策	<ul style="list-style-type: none">・粉塵、ミスト、蒸気などの吸入を避ける。・換気の良い場所でのみ使用する。・使用前に取扱説明書を入手すること。・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・皮膚についた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。・眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。・皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。・気分が悪い時は医師に連絡すること。
保管	<ul style="list-style-type: none">・直射日光を避け、冷所に保管すること。・容器を密閉しておくこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
2-フェノキシエタノール	>98	122-99-6	3-558/9-1277	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合	直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水又は食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
使ってはならない消火剤	水
特有の危険有害性	火災によってCO ₂ 、CO等の有害性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。 消火作業は可能な限り風上から行う。 初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具および緊急措置	作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。露出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項 回収・中和	流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。 漏洩した液は、けいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。
封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策	適応される規制に従って廃棄する。 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱い注意事項	『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の適切な保護具を着用する。 皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。火気に注意する。 密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行なう。 使用前に取扱説明書をよく読む。 本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。
保管	
保管条件	直射日光を避け、冷所に保管する。 容器を密閉して保管する。
容器包装材料	オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準)	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	情報なし
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
手の保護具	耐溶剤手袋
眼、顔面の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等
衛生対策	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	透明色
臭い	フェノール臭
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	127 °C(2-フェノキシエタノール)
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
水	情報なし
有機溶剤	エタノール、エーテルに可溶
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1.1 g/cm ³
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
危険有害反応可能性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	CO、CO ₂

1 1. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性

経口

2-フェノキシエタノール : 区分外

経皮

2-フェノキシエタノール : 区分外

吸入

2-フェノキシエタノール : 区分外

ラット 経口 LD₅₀=2937mg/kg

ウサギ 経皮 LD₅₀=2251mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

2-フェノキシエタノール : 区分外

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

2-フェノキシエタノール : 眼に対して刺激性がある(区分2B)

呼吸器感作性

情報なし

皮膚感作性

2-フェノキシエタノール : 区分外

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

2-フェノキシエタノール : 区分外

生殖毒性

情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

2-フェノキシエタノール : 区分3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし

誤えん有害性

情報なし

1 2. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性

2-フェノキシエタノール 甲殻類(オオミジンコ) EC₅₀>500mg/L/48H

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

スクラパーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。

廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。

UN No. : 該当しない

Proper Shipping Name : -

Class : -

Packing Group : -

航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. : 該当しない

Proper Shipping Name : -

Class : -

Packing Group : -

国内規制

陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。

海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)

航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

特別安全対策

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

直射日光を避けて輸送する。

緊急時応急措置指針番号

-

15. 適用法令

化審法	特段規制なし
安衛法	非該当
化管法(PRTR法)	非該当
毒劇法	非該当
消防法	第4類 第三石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ :2-フェノキシエタノール
じん肺法	非該当
大気汚染防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水質汚濁防止法	非該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。